東染八景めぐりと歴史文化にふれる

東染の起源は、古くは室町時代の佐竹義舜（よしきよ）の時代までさかのぼります。曽目（そめむら）村の武士たちが義舜（よしきよ）のために命がけで戦った褒美（ほうび）に租税を免除されたことから租免（そめんむら）村とも呼ばれたそうです。その後、曽目村は中（なか）と西（にし）と東（ひがし）の３つに別れ、簡単な染という字をつかい「東染」になりました。

また、江戸時代の文政６年の東染全図の中に東染八景の記載がされていることから、文人墨客（ぶんじんぼっかく）もこの地を訪れたことがわかります。東染は、東金砂神社の表参道や飢饉（ききん）に備えた郷倉（ごうくら）などの歴史的景観と、四季折々の美しい里山の景観が調和した空間となっています。

東金砂神社の一の鳥居
東染の観光名所三選に入る、開かずの鳥居として、全国的に有名。文字どおり「開かない」鳥居

十二所神社
東染一帯の氏神に鎮座する神社。国常立命をはじめ、十六柱の神が祀られている

東金砂神社
刀剣の大奇代、東金砂神社の風除祭で奉納される田楽舞は国選択無形民俗文化財

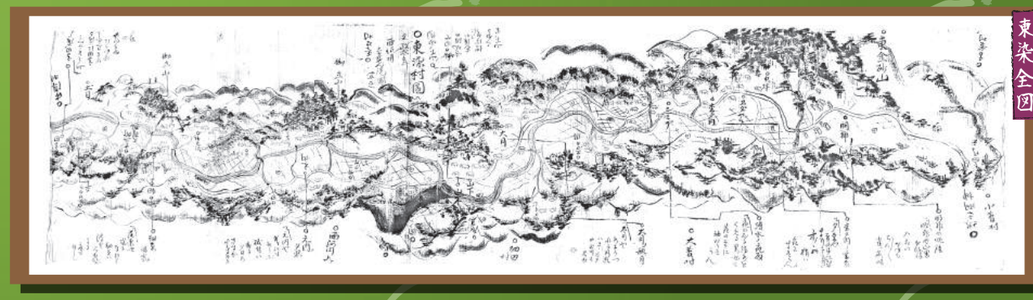
郷倉
江戸時代に建てられた米の蔵で、飢饉に備えて米を貯えていた

地蔵尊
子育てと安産を祈願する地蔵尊が祀られている

三面薬師
医者、産婦人、薬師を祀った薬師

経屋
江戸時代に塩師がすんでいた場所

御神輿お休み場
十二所神社の神輿が御出社した時のお休み場となった場所



明神の晩鐘 八景
松戸内の春雪 八景
一の鳥居
清水の夜雨 八景
三面薬師
郷倉
大月の秋の月 八景
林業センター
現在地
県道36
竜黒磯トンネル
経屋
山下の帰帆 八景
御神輿お休み場
元内の夕照 八景
東染一区集会所
地蔵尊
細草の晴嵐 八景
十二所神社
高田の落雁 八景

【凡例】 八景 東染八景　地域の宝
駐車場　トイレ

〔距離目安〕 300m

N

東染町会